

# 板橋区販売図書一覧

画像	書名・内容紹介	価格(税込)
	<p>『いたばしの田遊び (文化財シリーズ第94集)』</p> <p>国の重要無形民俗文化財に指定されている「板橋の田遊び」は、旧正月にその年の五穀豊穡と子孫繁栄を祈願し神に奉納する行事です。板橋区の徳丸北野神社と赤塚諏訪神社に奉納される神事について詳しくご紹介しています。</p>	290円
	<p>『いたばしの獅子舞と四ツ竹踊り (文化財シリーズ第95集)』</p> <p>板橋区には、農業を中心とする生活の一環として「三頭立ちの獅子舞」、「四ツ竹踊り」等の民俗芸能が現在まで継承されてきました。このハンドブックでは区指定無形民俗文化財である「徳丸北野神社獅子舞」「赤塚諏訪神社獅子舞」「徳丸四ツ竹踊り」「大門四ツ竹踊り」それぞれの特色についてご紹介しています。</p>	290円
	<p>『いたばしの里神楽 (文化財シリーズ第99集)』</p> <p>区指定無形民俗文化財の「里神楽」について、その起源から、板橋に広まった様子などを、さまざまな資料をもとに解説しています。また、「里神楽」の保持団体に認定されている「成増里神楽保存会」・「相模流萩原正義社中」が伝承している演目の解説書にもなっています。</p>	290円
	<p>『旧東京第二陸軍造兵廠火薬研究所 近代化遺産 群調査報告書(文化財シリーズ第96集)』</p> <p>板橋区加賀には、終戦時まで陸軍板橋火薬製造所と火薬研究所があり、現存する遺構は国の史跡に指定されています。本書は近代史や建築史、産業史、火薬学など、さまざまな分野から陸軍板橋火薬製造所・研究所に迫り、その全貌を明らかにしています。</p>	2,480円

	<p>『板橋宿の歴史と史料－宿場の町並と文化財－ （文化財シリーズ第98集）』</p> <p>板橋宿の様子を記した江戸時代の紀行文や随筆、また、区指定有形文化財「飯田侃家文書」の古文書を多数掲載して、江戸時代を中心とする板橋宿と区内中山道の姿を描き出すとともに、考察を加えた解説書です。</p>	<p>650円</p>
	<p>『板橋区用途地域図（1万分の1）』</p> <p>本地図は、令和5年4月現在、都市整備部が発行しており、第一種低層住居専用地域、第一種・第二種中高層住居専用地域、近隣商業地域、準工業地域等を区分したものであります。用途地域制による主な建築用途制限を図表で示しています。</p>	<p>750円</p>
	<p>『板橋区都市計画図（1万5千分の1）』</p> <p>本地図は、令和8年4月現在、都市整備部が発行しており、都市計画法により道路及び公園で事業完了・事業中・未着手を色別に区分しています。また、市街地開発事業、地区計画、沿道地区計画等について色彩により区分したものです。</p>	<p>910円</p>
	<p>『板橋区基本構想・基本計画2035』</p> <p>令和7年度に、基本構想で想定していた期間の到来と基本計画の期間満了を迎えることから、板橋区基本構想審議会の答申を踏まえ、令和7年10月に区議会の議決を経て、新たな「板橋区基本構想」を策定しました。また、令和8年1月に、基本構想に掲げる将来像の実現に向け、区政運営の基本的指針であり、区政全般にわたる総合的な計画となる「板橋区基本計画2035」を策定しました。</p>	<p>2,290円</p>
	<p>『いたばしNO.1実現プラン2028』</p> <p>板橋区基本構想で掲げる将来像「未来をひらく 緑と文化のかがやくまち“板橋”」の実現に向け、区政を総合的・計画的に推進していくための方向性と目標を示したプランとして「板橋区基本計画2035」を策定していますが、この基本計画を推進するための具体的な事業等を明示した3か年のアクションプログラムとして「いたばしNo. 1 実現プラン2028」を策定しています。</p>	<p>890円</p>